

**食品供給システム・流通改革、
成長産業化・6次産業化に向けた検討事項（案）**

1. 食品供給システム・流通、成長産業化・6次産業化、市場開拓の現状及び政策をどのように評価するか。

【現状】

- ・ 内需型の構造。国内消費による市場縮小傾向。
- ・ 農協を介さない多様な流通の進展（契約販売、直接販売等）
- ・ 外食・中食を通じた消費の拡大
- ・ 輸出への取組

【近年における主な政策展開】

- ・ 農商工連携法、六次産業化法の制定
- ・ トレサビリティ制度の導入（牛肉、米）
- ・ 中国向け米等アジアへの輸出拡大の検討

2. 今後、食品供給システム・流通改革に向けた具体策をどのように考えるか。

(1) 現行流通システムの検証

（農林水産物の価値の消費者への発信機能、消費者ニーズの生産者への伝達、流通経費や手数料等）

(2) 卸売市場の機能改善等

(3) 食品供給システムの効率化（制度に関する各省連携の推進等）

(4) 流通における競争力の強化（農協の機能の見直し、新規参入）

- (5) **食品製造業・食品流通業の競争力強化**（特に加工原料用となる農林水産物と関係が密接な食品製造業の体質強化）
- (6) **生産・加工・流通・販売一貫体制の推進**

3. 今後、成長産業化・6次産業化のための具体策をどのように考えるか。

- (1) **農商工連携法の評価**
- (2) **中小企業政策、製造業などの技術や経営改善等のノウハウ導入、クールジャパン戦略等の産業支援策の活用**
- (3) **成長産業化・6次産業化に向けた各省施策の有機的な構築**
- (4) **経営体質の強化**
(資本の充実、マーケティング力の強化、人材育成)

4. 輸出拡大のための具体策をどのように考えるか。

- (1) **国内外における生産流通体制全体の中での障害の抽出と改善策**
- (2) **地域・品目を特定しての重点的輸出、具体的取組の加速**
(特に中国へのコメ、乳製品輸出の課題と対応)
- (3) **各省横断、官民連携によるマーケティング機能の強化**
- (4) **高付加価値化・ブランド化に向けた取組強化**
(HACCP・GAP等の取得、地理的表示)
- (5) **和食文化全体の振興**

5. 安全・安心の確保等消費者が国産品を選択できる環境の整備

- (1) トレサビリティ**
- (2) 原産地表示、地理的表示**
- (3) ブランド化の推進**

6. 需要・市場拡大のための具体策をどのように考えるか。

- (1) 生産流通体制の中での障害の抽出と改善策**
- (2) 国内外の食品市場の開拓に向けた方策**
 - ①高齡化への対応や訪日外国人市場の開拓等**
 - ②官民を挙げてのアジア等における市場獲得の促進等**
 - ③食と一体となった売込み（「東京農業祭」等の提案の検討）**
 - ④地域をよく知り、地域の生産者と国内外の消費者を結ぶコーディネーターの育成**
- (3) 新規用途等の市場開拓の強化**
 - ①飼料用米、米粉等の生産・加工・流通体系の検証・整備**
 - ②バイオマスの生産・利用促進**

7. 6次産業化、市場開拓に向けた官民一体となった体制の整備

- (1) 国・地方それぞれのワンストップ体制の検討**
- (2) 農林水産業界と産業界の連携**